

結城市で総合防災訓練

城西病院から DMAT と JRRT 隊員が参加

結城市の総合防災訓練が11月26日、結城市鹿窪の鹿窪運動公園をメイン会場に行われました。今年は、関東ブロック DMAT 訓練と日程が重なってしまったために、城西病院から DMAT 隊員と JRRT（城西急変対応初動チーム）が参加しました。

この訓練には、市民による自主防災組織、結城市、結城消防署、結城警察署、結城市消防団、自衛隊をはじめ大勢の人が参加。午前9時、関東地方で震度6強の地震があったとの想定で開始。住民避難誘導訓練やシェイクアウト訓練（地震の際に姿勢を低くして身を守る訓練）、避難所開設資機材訓練 AED 応急訓練、災害ボランティアセンター設置訓練、物資輸送訓練、救助救出訓練など多岐にわたって訓練が行われました。

地震によってマイクロバスと乗用車が正面衝突。多くの負傷者が出たという想定で DMAT が出動。消防隊員によって、乗用車やマイクロバスから負傷者が助け出され、救護所に駆け付けた DMAT や JRRT 隊員によってトリアージが行われ、緊急搬送が必要な重傷者を3次救急病院に搬送、その場で応急処置のできる軽傷者を処置したりしました。訓練には大勢の市民が見学を訪れ、災害の状況に応じてきばきと行われる訓練に見入っていました。

2023年11月27日

